高松市立下笠居小学校 学校だより　　令和５年度

下小だより 12月号

※ 学校の様子は、ブログでご覧ください。(http://blog.edu-tens.net/e-simoka/)　下笠居小

いよいよ師走…。6年生の修学旅行で…

寒くなるにつれて空気は澄み、北校舎3階の窓からは、生島湾がくっきりと見えます。いよいよ師走、12月を迎えました。一年が過ぎるのは、本当に早く感じます。早いといえば、夕方は暗くなる時間がさらに早くなってきました。11月下旬から12月上旬にかけてが、一年のうちでも最も日の入りの時間が早い時期で、この期間、高松市では16時54分に日が沈みます。今年の冬至は、12月22日。まだしばらくの間は、早く日が暮れますので、子どもたちの帰宅時間についてご配慮をお願いいたします。

さて、11月には、県の陸上競技大会や下笠居地区文化祭、県の学習状況調査、修学旅行、校外学習、学習参観・引取り訓練・バザー、うどん作り、子ども・夢・アート・アカデミーと、それぞれの学年で貴重な活動・体験をすることができました。特に、修学旅行は、小学校での一番の思い出の一つとなるものです。それぞれの施設で、ルールを守って見学や体験をすることもできていました。バスの中では、レクリエーションを通して友だちとの絆が深まったことと思います。旅館でも、友だちと話しながら、楽しく過ごせたようです。お土産もたくさん買っていましたが、きっとかけがえのない思い出ができたのではないでしょうか。6年生の素敵な笑顔に、心が和んだ二日間でした。

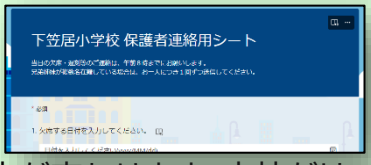
人権ミニ集会をして…

11月22日(水)の昼活動の時間に、人権ミニ集会がありました。人権の視点に立った授業や人権月間中に行った活動で心に残ったことを、各学級の代表者が発表するものです。今年、初めての試みでしたが、各学級の取組がよく分かりました。

- １－１ 友だちがつらいときに、声を掛けられる本当のなかよしになれるようになりたい。
- ２－１ 小さなうそをつくことはあるけれど、できるだけ、いつも正直な人でありたい。
- ３－１ みんなでつくった学級歌とダンスで、もっと仲よくなっていけるようにしたい。
- ４－１ 友だちの失敗を許す大切さを知り、許せる人になりたい。
- ４－２ 親切な行動をすることがあるけれど、誰のためにしているかを忘れずにしたい。
- ５－１ いじめに気付いたとき、勇気を出して「やめなよ」と声を掛けられるようになりたい。
- ５－２ いじめられる側、いじめる側双方の立場になって考えていきたい。
- ６－１「かがやきさん見付け」で、自分の気付いていないことを見付けてくれたので、自分も見付けたい。
- ６－２ ルールを守って、相手の立場になって考え、行動できるようになりたい。

各学級で発表した内容を要約したものです。各学級でこれからもしっかり取り組み、やさしさあふれる下小になることを願っています。

欠席連絡・学校からの手紙の配布の仕方が変わります…



かねてよりお知らせしております通り、12月1日(金)より、欠席連絡の仕方が変わります。本校がリーディングDXスクール事業の指定を受けていることもありますが、全国的にみても、電話ではなくアプリを介しての連絡が多くなってきており、高松市内でも、既に変更している小・中学校も複数あることから、アプリによる対応に変更してまいりたいと存じます。

また、学校が発出する文書につきましても、ゼロカーボンやSDGsの観点からも、できるだけペーパーレスが求められる時代となっております。そのため、ミッタメールを使って、お知らせすることを始めております。慣れるまではご苦労をおかけするかもしれませんが、ご理解・ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。(必要な場合は、紙文書で発出する場合もあります)

また、登校した子どもたちから行っている健康観察も、統一したアプリで行うようにし、養護教諭等が子どもたちの様子を一元管理し、個別に働き掛けやすくなるようにしたいと考えております。校務のDXにも、ご理解をよろしくお願いします。